

【教育目標】

○自ら考え正しく判断できる生徒 ○心豊かで最後までやり抜く生徒 ○健康で活力ある生徒



福島県南相馬市立原町第一中学校

原一中だより

第 10 号 令和6年1月30日(火)発行

令和5年度 重点目標

未来をみつめ ともに学び 高め合える生徒

3学期始業式にて

1月9日(火)に始業式を行い、51日間(3年生は45日間)の3学期がスタートしました。

式辞として、始業式に話したのは、能登半島地震や羽田空港「航空機衝突事故」など、自然災害や人災にどう対応していくべきか等を問いかけた内容です。式辞の一部を紹介します。

約13年前に起きた東日本大震災と原子力発電所事故、近年の新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的流行)など、予測困難であり解決方法を見つけにくい事例が頻発しています。しかし、これからの社会がどんなに変化して、予測困難な時代になっても、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現して行ってほしいと願っています。

昨年11月、学校で行われた講演会の中で、福島県立医科大学の坪倉教授が「地域のために考え、行動し、発信することが大事です。外側から見る傍観者ではなく、自ら行動を起こすことが変化を起こすことになる。」と力強いメッセージを送ってくださいました。そのために今できることは何か、それは皆さんが知識や体験を増やしていくこと、身体を鍛えること、心を豊かにしていくことです。(中略)

輝かしい未来に向けて、健康で希望に満ちた素晴らしい1年となるよう願っています。



トップアスリートに学ぶ

1月12日(金)、世界で活躍するBMXの選手に来校いただき、オリンピックの正式種目であるアーバンスポーツを体感する特別授業を1・2年生を対象に実施しました。これは全日本フリースタイルBMX連盟のご協力によるものです。全国で6校のみ開催され、本校もそのうちの1つに選ばれたことで実現できました。日本を代表する選手達の生き方や夢・目標に迫るための話や、ジャンプ台を使った空中トリックを生で見ることができ、とても盛り上がりました。生徒達のキャリア育成に大きくつながる授業となりました。



新たな伝統のために

1月12日(金)、PTA会長の鈴木さんと副会長の井上さん、幹事の馬場さんが来校し、生徒会執行部役員へ腕章が贈呈されました。赤色に金色の糸で「生徒会」と刺繍された腕章をサプライズで贈呈したため、生徒達は感動し、とても喜んでいました。伝統ある原町一中の生徒会執行部として、これからも自覚と誇りをもって取り組んでほしいと思います。



*校長室にて、PTA会長から生徒会長へ腕章を贈呈

